

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人秀和会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

(2) 事務所の所在地 埼玉県春日部市谷原新田 1 2 0 0 番地

(3) 設立認可年月日 昭和 5 6 年 3 月 1 1 日

(4) 設立登記年月日 昭和 5 6 年 4 月 1 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	安達 進	
理 事	堀内 晋	
同	細川 賢治	
同	山本 成一郎	
監 事	須山 雅之	

2 事業の概要

- (1) 本来業務 (開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の業務)

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	秀和総合病院	埼玉県春日部市谷原新田 1 2 0 0 番地	一般病床 3 0 0 床 療養 5 0 床
クリニック	秀和総合病院附属 秀和透析クリニック	埼玉県春日部市上大增新田 1 0 番地 1	

- (2) 附帯業務 (医療法人が行う医療法第 4 2 条各号に掲げる業務)

該当なし

110

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

該当なし

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年6月28日 令和3年度計算書類の承認

令和5年3月28日 2023年度事業計画及び収支予算の承認

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

該当なし

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

該当なし

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

該当なし

- (8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

貸借対照表
(令和 5年 3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	1,823,457	I 流 動 負 債	1,680,007
現金及び預金	281,304	買 掛 金	746,794
事業未収金	1,475,953	一年以内返済予定長期借入金	198,106
たな卸資産	80,774	リ ー ス 債 務	133,232
前払費用	6,517	未 払 金	399,043
未収入金	5,428	未払法人税等	70
その他の流動資産	322	未払消費税等	5,535
貸倒引当金	△ 26,843	預 り 金	43,350
		賞 与 引 当 金	153,873
II 固 定 資 産	1,144,325	II 固 定 負 債	1,487,699
1 有 形 固 定 資 産	843,386	長 期 借 入 金	594,099
建 物	3,671	リ ー ス 債 務	411,600
建物附属設備	181,340	退職給付引当金	482,000
構築物	4,343		
医療用器械備品	624,592	負 債 合 計	3,167,706
車両運搬具	0		
建設仮勘定	1,518	純 資 産 の 部	
土地	27,921	科 目	金 額
2 無 形 固 定 資 産	19,193	I 積 立 金	△ 199,923
ソフトウェア	19,193	設 立 等 積 立 金	180,828
その他の無形固定資産	0	繰越利益積立金	△ 380,752
3 そ の 他 の 資 産	281,745		
保 証 金	213,654		
長期前払費用	54,491	純 資 産 合 計	△ 199,923
長期貸付金	13,600	負 債 ・ 純 資 産 合 計	2,967,783
資 産 合 計	2,967,783		

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

損益計算書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		8,338,998
2 事業費用		
(1)事業費	8,397,020	
(2)本部費	0	8,397,020
本来業務事業損失		58,022
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
附帯業務事業利益		0
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業損失		58,022
II 事業外収益		
受取利息	5	
その他の事業外収益	122,107	122,113
III 事業外費用		
支払利息	17,351	
その他の事業外費用	17,784	35,135
経常利益		28,955
IV 特別利益		
固定資産売却益	339	
その他の特別利益	0	339
V 特別損失		
固定資産除却損	0	
その他の特別損失	0	0
税引前当期純利益		29,295
法人税・住民税及び事業税	70	
法人税等調整額	0	70
当期純利益		29,224

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

財 産 目 録
(令和 5 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	2,967,783 千円
2. 負 債 額	3,167,706 千円
3. 純 資 産 額	△ 199,923 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		1,823,457
B 固 定 資 産		1,144,325
C 資 産 合 計 (A + B)		2,967,783
D 負 債 合 計		3,167,706
E 純 資 産 (C - D)		△ 199,923

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地	(□ 法人所有 □ 賃借	■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(□ 法人所有 □ 賃借	■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人秀和会
所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

医療法人番号					
--------	--	--	--	--	--

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
「該当なし」									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
「該当なし」							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

監 事 監 査 報 告 書

医療法人秀和会

理事長 安達 進 殿

私は、医療法人秀和会の令和4会計年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

令和5年6月20日

医療法人秀和会

監事 須山 雅之

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する注記

当法人は、当法人が運営する秀和総合病院において、看護師が一時的に不足したことにより入院患者の受け入れを制限したこと、及び令和3年3月期に全国的に新型コロナウイルス感染症が流行し、感染拡大防止の体制を構築するために入院、外来ともに患者の受け入れを制限せざるを得ない状況となったことを受け、過年度に多額の事業損失を計上しております。令和5年3月期においては、新型コロナウイルス感染症の流行は依然として続いているものの、看護師の採用活動が奏功し入院患者の受け入れ可能人数が引き続き増加したことに伴い、入院患者数が安定しつつあることで令和5年3月期は当期純利益を計上することができました。しかし、過年度に計上した事業損失を穴埋めするには至らず、令和5年3月31日現在において債務超過の状態となっております。以上より、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当法人は、かかる状況を解消するため、引き続き看護師の採用活動に力を入れ、入院患者の受け入れ可能人数の更なる増加に取り組む予定です。また、これまでの看護師の増加に伴って、長年の懸案であった療養病棟の稼働を再開する目途が立ったため、令和6年3月期中に療養病棟に患者を受け入れ、医療サービスの向上に取り組んでまいります。

しかし、これらの対応策は実施途上であり、今後の看護師の確保の状況及び燃料費高騰状況、更には海外情勢の不安定化による各種コストへの影響によっては、当法人の資金繰りに更なる影響を及ぼす可能性があることから、現時点においては継続事業の前提に関する重要な不確実性が存在するものと認識しております。

なお、計算書類は継続事業を前提として作成しており、継続事業の前提に関する重要な不確実性の影響を計算書類に反映しておりません。

2 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産

- | | |
|-------|---------|
| ・医薬品 | 最終仕入原価法 |
| ・診療材料 | 最終仕入原価法 |
| ・貯蔵品 | 最終仕入原価法 |

3 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産以外） 定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物、平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法

② 無形固定資産 定額法

③ リース資産 リース期間定額法

4 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法の規定による法定繰入率により、貸倒懸念債権等特定の債権について個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

② 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規則に基づく期末要支給額により計上しています。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

なお、当会計年度に発生した控除対象外消費税等のうち、固定資産に係るものについては、長期前払費用に計上し、5年間にわたり費用配分しています。また、固定資産に係るもの以外のものについては、発生会計年度の期間費用としています。

6 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

未収入金	139,017千円
立替金	3,192千円
土地	13,545千円
減価償却超過額	162千円
一括償却資産	1,748千円
繰延資産	250千円
繰延消費税	8,519千円
電話加入権	1,653千円
貸倒引当金繰入超過額	4,941千円
賞与引当金	42,468千円
退職給付引当金	133,032千円
繰越欠損金	64,752千円
小 計	413,287千円
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	△ 64,752千円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△ 348,535千円
評価性引当額小計	△ 413,287千円
合 計	-千円

7 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種 類	名 称	所在地	総資産額 (千円)	事業 内容	関係事業者 との関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科 目	期末残高 (千円)
該当なし									

取引条件及び取引条件の決定方針等

(2) 個人である関係事業者

種類		氏名	職業	関係事業者 と関係	取引の内容		取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
	該当なし								

取引条件及び取引条件の決定方針等

医療法第51条第2項該当法人

法人名 医療法人秀和会

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

医療法人番号

純資産変動計算書
(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)
(単位: 千円)

	基金 (又は出資金)	積立金				評価・換算差額等	純資産合計
		代替基金	設立等積立金	繰越利益積立金	積立金合計		
令和 4年 4月 1日 残高			180,828	△ 409,976	△ 229,148		△ 229,148
会計年度中の変動額							
当期純利益				29,224	29,224		29,224
会計年度中の変動額合計				29,224	29,224		29,224
令和 5年 3月 31日 残高			180,828	△ 380,752	△ 199,923		△ 199,923

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は 償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	-	3,681	-	3,681	10	10	3,671
	建物附属設備	141,294	80,097	-	221,391	40,050	12,266	181,340
	構築物	22,392	330	-	22,722	18,379	1,786	4,343
	医療用器械備品	1,420,028	168,473	101,082	1,487,420	862,828	189,853	624,592
	車両運搬具	1,612	-	-	1,612	1,612	-	0
	建設仮勘定	-	1,518	-	1,518			1,518
	土地	27,921	-	-	27,921			27,921
	計	1,613,249	254,100	101,082	1,766,268	922,881	203,915	843,386
無形 固定 資産	ソフトウェア	590,214	1,282	-	591,496	572,303	16,551	19,193
	その他の無形固定資産	0	-	-	0			0
	計	590,214	1,282	-	591,496	572,303	16,551	19,193
その 他の 資産	保証金	213,828	-	174	213,654			213,654
	長期前払費用	44,592	18,964	9,065	54,491			54,491
	長期貸付金	12,500	1,100	-	13,600			13,600
	計	270,920	20,064	9,239	281,745	0	0	281,745

(注1) 当期増加額のうち主なものは、次のとおりであります。

建物附属設備	照明設備費用	45,000千円
建物附属設備	化学療法室工事費用	29,806千円
医療用器械備品	CアームX線TVを取得	35,454千円
医療用器械備品	マンモグラフィーを取得	24,000千円
医療用器械備品	透析用水作成装置を取得	19,000千円
医療用器械備品	メラ遠心血液ポンプシステムを取得	16,280千円

(注2) 当期減少額のうち主なものは、次のとおりであります。

医療用器械備品	体外衝撃波結石破碎装置のリース期間終了	43,290千円
医療用器械備品	画像診断システムのリース期間終了	25,000千円
医療用器械備品	白内障手術装置のリース期間終了	17,500千円

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

引当金明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	20,351	26,843	-	20,351	26,843
賞与引当金	141,599	153,873	141,599	-	153,873
退職給付引当金	474,000	66,538	58,538	-	482,000

(注) 貸倒引当金の「当期減少額(その他)」は、洗替による戻入れであります。

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

借入金等明細表

区 分	前期末残高 (千円)	当期末残高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
1年以内に返済予定の 長期借入金	167,773	198,106	0.82	-
1年以内に返済予定の リース債務	148,009	133,232	1.80	-
長期借入金(1年以内に 返済予定のものを除く。)	650,744	594,099	0.82	令和6年4月～令和17年7月
リース債務(1年以内に 返済予定のものを除く。)	511,535	411,600	1.80	令和6年4月～令和11年2月
合 計	1,478,063	1,337,039	-	-

(注) 長期借入金(1年以内に返済予定のものを除く。)及びその他の有利子負債の貸借対照表日以後5年以内における1年ごとの返済予定額の総額は以下のとおりであります。

(単位:千円)

区 分	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内
長 期 借 入 金	149,353	98,039	81,590	47,052
リ ー ス 債 務	119,653	106,294	106,687	76,163

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

有 価 証 券 明 細 表

【債権】

銘 柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
該当なし		
計		

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附 帯 業 務 事業費用	収 益 業 務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材 料 費	1,807,528	-	1,807,528	-	-	1,807,528
給 与 費	3,908,293	-	3,908,293	-	-	3,908,293
委 託 費	721,651	-	721,651	-	-	721,651
経 費	1,947,879	-	1,947,879	-	-	1,947,879
売 上 原 価	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 事 業 費 用	11,668	-	11,668	-	-	11,668
計	8,397,020	-	8,397,020	-	-	8,397,020

法人名 医療法人秀和会

医療法人番号

所在地 埼玉県春日部市谷原新田1200番地

事業費用明細書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日)

(単位: 千円)

科 目	金 額	
I 材料費		
医薬品費	842,845	
診療材料費	964,683	1,807,528
II 給与費		
給与手当	3,050,434	
賞与	355,940	
退職給付費用	66,538	
人材派遣料	8,376	
法定福利費	427,002	3,908,293
III 委託費		
検査委託費	61,709	
給食外注費	101,126	
医療関連委託費	157,522	
清掃委託費	82,865	
寝具委託費	67,395	
建物保守委託費	79,928	
その他の委託費	171,103	721,651
IV 経費		
減価償却費	220,467	
賃借料	102,523	
地代家賃	525,268	
修繕費	169,071	
車両費	6,914	
福利厚生費	75,283	
旅費交通費	1,080	
通信費	11,113	
広告宣伝費	559	
消耗品費	68,540	
水道光熱費	226,172	
保険料	10,547	
交際費	878	
諸会費	2,936	
寄附金	9,000	
租税公課	373,685	
貸倒引当金繰入額	6,491	
雑費	137,343	1,947,879
V 売上原価		
商品(又は製品)期首たな卸高	0	
当期商品仕入高(又は当期製品製造原価)	0	
商品(又は製品)期末たな卸高	0	0
VI その他の事業費用		
研究研修費		11,668
事業費用計		8,397,020

独立監査人の監査報告書

令和5年6月20日

医療法人秀和会
理事会 御中

加藤公認会計士事務所
東京都千代田区
公認会計士

加藤 裕司

高野寛之公認会計士事務所
東京都中央区
公認会計士

高野 寛之

監査意見

私たちは、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人秀和会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第42期会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

継続事業の前提に関する重要な不確実性

継続事業の前提に関する注記に記載されているとおり、法人は、過年度に多額の事業損失を計上しており、令和5年3月31日現在において債務超過の状態となっていることから、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しており、現時点では継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる。なお、当該事象又は状況に対する対応策及び重要な不確実性が認められる理由については当該注記に記載されている。計算書類は継続事業を前提として作成されており、このような重要な不確実性の影響は計算書類に反映されていない。

当該事項は、私たちの意見に影響を及ぼすものではない。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上